

令和5年度 推薦入学者選抜 実技検査内容について

富山県立呉羽高等学校

1 実技検査内容

(1) 検査は個別検査

(2) 受検者は、次のア、イ、ウのいずれかを選択する。

ア 声楽を選択する者

a 自由曲歌唱（約3分）

- ・ 本校教諭がピアノで伴奏し、受検者は暗譜で歌唱する。また、移調を認める。
- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

b 新曲視唱（約2分）

- ・ 8小節程度の簡単な新曲を視唱する。

イ 器楽（ピアノ）を選択する者

a 選択曲演奏（約3分）

- ・ 下記の1, 2, 3, 4の選択曲群より任意の1曲を、繰り返しなしで暗譜で演奏する。

1. ハイドン (Haydn.F.J) ソナタより第1楽章 (ただし Hob.XVI:35 は除く)

2. モーツァルト (Mozart.W.A) ソナタより第1楽章 (ただし下記の3曲を除く)
K.282 変ホ長調、K.331 イ長調、K.545 ハ長調

3. ベートーヴェン (Beethoven.L.V) ソナタより Op.2 No.1 から Op.90 までの
第1楽章 (ただし下記の6曲を除く)

Op.13 ハ短調、Op.26 変イ長調、Op.27 No.1 変ホ長調

Op.27 No.2 嬰ハ短調、Op.49 No.1 ト短調、Op.49 No.2 ト長調

4. シューベルト (Schubert.F.P)、メンデルスゾーン (Mendelssohn.F)、
ショパン (Chopin.F)、リスト (Liszt.F)、シューマン (Schumann.R.A)、
ブラームス (Brahms.J) のピアノ作品

- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に提出する。楽譜の提出は不要。

b 歌唱（約2分）

- ・ 中学校の音楽の教科書に記載されている程度の歌唱曲を歌唱する。本校教諭がピアノで伴奏する。暗譜の必要はない。また、移調を認める。
- ・ 曲名等を受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

ウ 器楽（ピアノ以外）を選択する者

a 自由曲演奏（約3分）

- ・ 繰り返しなしで、無伴奏、暗譜で演奏する。
- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

b 歌唱（約2分）

- ・ イのbに準ずる。

2 提出書類

推薦入学願書、調査書、推薦書、本校所定の様式による受検曲票及び楽譜

○ 受検曲票及び楽譜等について

- ・ 受検曲票は記入上の注意及び記入例を参照し、必要事項を漏れなく記入する。
- ・ 提出楽譜は整理の都合上、その大きさは **B4版（見開き2頁）**とし、1曲が複数枚になる場合は下方中央に頁番号を記入する。また、**すべての楽譜の右上余白に中学校名と受検者名を記入する**。台紙は不要。（検査当日、受検者が実技試験（歌唱）で楽譜を必要とする場合は持参すること。）
- ・ 手書きの移調楽譜の場合は、黒または青インクで正確に書き、伴奏部に添えて声部と歌詞とを記入する。
- ・ 伴奏楽譜は簡易伴奏譜ではなく、歌唱声部と大譜表ピアノ譜があるものとする。
- ・ 伴奏に、テンポ、ブレス等特別な要望がある場合は、提出楽譜にその旨を明記する。
- ・ 実技検査用楽器のうち、ピアノ、ハープ、コントラバス、マリンバ、スネアドラムは本校で準備できる。
- ・ 提出楽譜について

選 択 分 野		自由（選択）曲	歌唱曲
声 楽		○	
器 楽	ピ ア ノ	×	○
	ピ ア ノ 以 外	○	○

○は必要、×は不要

3 その他

日程については、出願受付時に配布する「推薦入学者選抜検査受検のしおり」に示す。